

新にいがた

2016年2月28日(日) 第1821号
発行所 新にいがた 長岡市曲新町1-12-14 ☎025(247)6366
毎月第4日曜日 定価150円(送料50円)1966年7月22日 第三種郵便物認可

野党共闘で戦争法廃止を

比例代表で日本共産党躍進を たけだ、にしざわ候補署名訴え

日本共産党の、ただ良介参院比例候補は12日、新潟市で戦争法廃止2000万署名の党県委員会と新潟地区委員会の宣伝行動に参加し、訴えました。にしざわ博選挙区候補や支部からも含め40人が参加しました。

たけだ候補は「志位委員長の国会質問で、戦争法の危険性がいよいよ現実のものとなってきた。参院選では戦争法廃止で頑張り抜ける候補者や党が勝利することが不可欠だ。新潟からも野党共同の声をあげ、勝利させよう。

今が頑張りどき。創立以来、戦争反対で一貫して頑張りぬいてきた日本共産党を、比例代表で大きく躍進させてほしい」と訴えました。

にしざわ候補は「党派を超えて署名を寄せてほしい。安倍政権に戦争法ノーを突きつけよう」と訴えました。

署名した60代の女性は「非常事態に沈黙は罪なので、一人で国会前の集会に行ってきた。皆さんが言っている通り。安倍政治を絶対止めさせなければならぬ」と語気を強めました。



戦争法廃止、共産党躍進を訴える、たけだ(右)、にしざわ候補 = 12日、新潟市

野党統一候補擁立を

市民連合新潟が大宣伝

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合@新潟」は1月25日、新潟市で結成後初の街頭宣伝し、参院選で野党統一候補擁立を実現することを訴えました。雪の中100人が参加。横断幕やプラカードを掲げました。

共同代表の佐々木寛氏(戦争をさせない1000人委員会)にいがた共同代表・新潟国際情報大学教授)、金子修介護士、磯貝潤子氏

(ママの会@新潟有志)らが、戦争法廃止と立憲主義を回復し、個人の尊厳を擁護する政治実現のため、参院選で野党が統一候補を実現し勝利できるように声を上げようと訴えました。

ママの会の棚橋尚子さんは「市民連合が結成されたことは、私たちにとても大きな希望になりました。女性には平和を心から願ひ、どの命も輝いてほしいと願っています。野党は共闘、戦争法廃止の



宣伝する市民連合 = 1月25日、新潟市

統一候補実現へ、一緒に頑張っていきましょう」と呼びかけました。

参加者の金子美枝子さんは「参加して元気をもらいました。署名も広げ、力になりました」と語りました。

戦争法廃止2000万署名必ず

新潟市の5つの党支部活動

新潟市中央区北部地域の5つの日本共産党支部は6日、地域で戦争法廃止2000万署名の宣伝・訪問活動をしました。雪降る中、にしざわ博参院選挙区候補、野本孝子市議ら

10人が参加しました。にしざわ候補が宣伝カードを訴えながら、4組で回りました。にしざわ候補は「志位委員長の国会質問により、戦争法での自衛隊の任務で、駆け付け警護や



宣伝・署名行動する党支部と、にしざわ候補 = 6日、新潟市

武器使用権限の拡大で、戦争法の現実的な危険が浮き彫りになりました。ぜひ戦争法廃止の2000万署名にご協力を。参議院選挙での日本共産党の躍進で戦争法を廃止させましょう」と訴えました。

TPP大筋合意で影響不安

ただ、にしざわ候補農協中央会と懇談



中央会と懇談する(右端から)にしざわ、ただ、渋谷、武田の各氏=12日、新潟市

日本共産党の、ただ良介参院比例候補は12日、新潟市のJA新潟中央会と懇談しました。同会の高橋元農業対策部長、佐野勇人次長が応対し、党側から、にしざわ博選挙区候補、渋谷明治県議、武田勝利新潟地区副委員長が参加しました。

代表らが、TPP(環太平洋連携協定)大筋合意による影響や考えを訪ねました。

高橋部長は、北陸4県の農協中央会として政府に、TPP大筋合意と国会決議との整合

性や影響について徹底した検証と公表を行うことなどを要請し、JA県大会でもTPP対策運動の継続・強化の特別決議を採択していると紹介しました。

高橋部長は「政府は大筋合意しても農業生産量や自給率は減らな」と言っているが、本当にそうか疑問を持っている。国内対策は実効性があるか不安で、営農意欲をそがれ、農業をやめる農家が相当増えると思う。政府の国会答弁では不安を感じてしまう。議論が噛み合わない」と強調しました。

県内農業への影響では「牛・豚肉などの畜産への影響が大きくなる。関税が一律に引き下げられ、長期にわたる影響が出る。コメも1年で魚沼の産出量の倍以上の8万トが輸入され、輸入米が売れやすい仕組みになっているので米価の下落が心配だ」と述べました。

ただ候補は、各地の農家や農協と懇談し、中山間地など条件不利地域ほど後継ぎがいなくなっている話を紹介し、今後も農業を守るために尽力していきたいと述べました。

野党は共闘 戦争法廃止の政府を

新発田憲法センターがスタンディング

新発田市の憲法を守る新発田共同センターは3日、市内のスーパーマーケット前で36人が参加して、スタンディング宣伝しました。同センターは、昨年9月以降、毎月3日と19日にスタンディングしています。

宣伝では、八幡紀共同代表がメガホンで「戦争法が強行成立して5カ月経ったが、国民は成立を許しておらず、全国で戦争法廃止のたたかいの灯はさらに燃え広がっている。精一杯スタンディングしよう。戦争法廃止2000万署名も広げよう。参議院選挙で野党共闘を実現しよう」と訴えました。

参加者の長谷川武夫さん(80)は「体調が悪かったが、雪の晴れ間だったのに参加した。常に署名用紙



スタンディング宣伝する参加者=3日、新発田市

は持ち歩き、声をかけている。先日も懇親会で署名を呼びかけ、してもらった。以前依頼して10人分持ってきてくれた人もいた。戦争法は絶対廃止しなければならぬ」と話していました。

参加者で「野党は共闘しよう」「戦争法廃止の政府をつくらう」などと唱和しました。

就学援助入学金3月支給に

新婦人などの運動実る

新潟市が低所得者に支給する就学援助で中学校入学時に支給する「新入学生徒学用品費」が、毎年入学後の8月に支給されていたのが、新日本婦人の会や「新潟市の就学援助制度研究会」の長年の運動が実り、今年から入学前の3月に支給されることになりました。関係者は喜んでいいます。

中学校に入学する子どもを持つ親にとって、入学前には学生服やカバンなど何かと費用がかかります。しかし、同学用品費は8月支給なので入学前の繰り上げ支給は就学援助を受けている世帯にとって切実な要望でした。

元小学校職員で同研究会代表の堀川明子さんが、担当課と繰り返し話し合いを積み重ね、新婦人も毎年要求。昨年9月議会では日本共産党の飯塚孝子市議員も質問で取り上げ、教育長が「検討する」と答えていました。全国でも3月支給をしているところははまだ少数です。

同学用品費は、1人2万3550円(所得が生活保護基準以下の場合)支給されます。対象は全体で約1800人、約3600万円になります。当局は今年度予算でなく、今年度予算の中でねん出に努力しました。

研究会の堀川さんは「子どもの貧困が問題になっている中、少しでも前進できてよかった。しかし、給食(スクールランチ)が食べられず、おにぎりや菓子パンで済ます子どももいます。そうした子どもたちへの支援も課題です」と語っています。



市に申し入れする市民ネット=9日、長岡市

柏崎刈羽原発 避難計画は実効あるものに

長岡市民ネットが市に申し入れ

柏崎刈羽原発から30キロ圏の長岡市が昨年12月に策定した原発災害避難計画について、原発ゼロ長岡市民ネットは9日、市に申し入れ書を提出しました。矢引光明代表、広井洋子事務局長ら5人が出席しました。

申し入れでは、矢引代表が、市民から「安全に避難できる計画なのか」「実効性に乏しい」との不安や疑問が寄せられていることや、「市内には10キロ圏以内の所もあり、原発立地自治体だ」という意識で

避難計画をつくってほしい」と要望しました。申し入れでは、①計画を急ぐのは再稼働に向けた条件づくりでないか、要援護者の避難、ヨウ素剤配布、スクリーンング対策などから2次、3次案策定が必要でないか②原発施設への航空機墜落などで「全面緊急事態」(EAL3)となった場合の対策③全面緊急事態のとき「被ばく低減を図る防護措置」としての「屋内退避」は子どもたちを含め、ある程度の被ばくはやむを得ないと考えているのか一などの疑問や問題点を指摘しました。

さらに、計画の避難経路で交通渋滞が起きないのか、大雪など複合災害が起きたらどうするのか、避難バスを配置できるのか、子どもたちが学校単位で避難する場合どう避難するのかなど12項目の問題を指摘しています。市からおおむね20日以内に文書での回答を求めました。

市の原子力安全対策室の桜井秀行課長は「市民の声を聞きながら、しっかりと計画にしていこう」と答えました。

「なくそう原発新潟市民ネット」は12日、新潟駅前前で30人以上が参加して167回目の金曜行動を行いました。集会は柏崎刈羽原発のケール敷設規制基準違反など再稼働する資格も能力もない「高浜原発3号機が再稼働されが、近くに関西の水がめ・琵琶湖があり、世界遺産の京都もある。原発が集中している福島で事故が起これば、福島は比喩ではない。停止して審査すべきだ」と発言がありました。たけだ候補は「福島事故の究明もされてい

原発再稼働許さず廃炉に

金曜行動にたけだ候補参加



デモ行進する市民ネットと(左2人目から)にしざわ、たけだ候補=12日、新潟市

「なくそう原発新潟市民ネット」は12日、新潟駅前前で30人以上が参加して167回目の金曜行動を行いました。集会は柏崎刈羽原発のケール敷設規制基準違反など再稼働する資格も能力もない「高浜原発3号機が再稼働されが、近くに関西の水がめ・琵琶湖があり、世界遺産の京都もある。原発が集中している福島で事故が起これば、福島は比喩ではない。停止して審査すべきだ」と発言がありました。たけだ候補は「福島事故の究明もされてい

柏崎刈羽原発断層 審査は厳正に

科学者らが規制委を批判

柏崎刈羽原発活断層問題研究会は1日、県庁で記者会見し、原子力規制委員会が柏崎刈羽原発6・7号機の適合審査を急いでいることと、同原発敷地と周辺部の地殻変動に関する厳正な科学的審査を行うよう申し入れたことを発表しました。大野隆一郎代表、立石雅昭新潟大学名誉教授ら5人が参加しました。大野、立石の両氏は、これまで2回にわたり規制委に断層に関する厳正な審査を申し入れてきたのに、審査は極めて不十分だと指摘しました。今回は、調査により初めて同原発敷地内に福島原発の8倍もの地下水が流れ込んでいる問題が分かったと指摘。原発周辺に川がないことから、もし事故が起これば軟弱地盤に原発が浮かんで、汚染水被害は福島原発事故の比喩ではなく、破局的状況が予想されるのに、審査対象にされたい問題点をきびしく批判しました。

このほか、柏崎地域の断層・安田層など形成年代の認識の問題点をはじめ、原発敷地周辺の地殻変動について東京電力の説明は十分でないこと、敷地内にある20万年前から30万年に動いた原直下を含む23本の断層評価の問題でも、活断層ではないとする東京電力の主張を受け入れるなど、厳正に審査が必要だと強調しました。

新潟水俣病の現実にもっと目を

公式発表50年でトーク&ライブ

昨年が新潟水俣病公式確認から50年になることから、新潟市で1月30日、県と市の共催で「新潟水俣病トーク&ライブ」恵み豊かな阿賀の流れに「が開かれ、300人が参加しました。

1部では、地元の団体が阿賀野川の素晴らしさや新潟水俣病患者の思いを表現した舞台



新潟水俣病の現実が語られ、表現された集会＝1月30日、新潟市

を提供。新潟医療福祉大学ダンス部の学生たちの創作ダンスが、水俣病患者の痛みや社会の偏見の現実に対峙する姿を美しい衣装と照明をバックに表現し、冒頭から参加者を舞台に引き込みました。

シンガーのたつあゐん（横山作栄氏）とその仲間の歌、女性二人の詩の朗読による構成

「放射線を浴びたX年後2」上映

伊東監督と原水協懇談

1954年のアメリカのビキニ水爆実験による日本国内の被害の実態を明らかにしたドキュメンタリー映画「放射線を浴びたX年後」。

（ともに愛媛県の南海放送制作）が27日から3月4日まで、新潟市の「市民映画館シネ・ウインド」で上映されます。

3・1ヒキニデーや3・11（福島原発事故）に合わせ、そのパート2

同映画の普及で新潟市にきた伊東英朗監督が16日、県原水協の会員らと懇談しました。

赤井純治、加村崇雄両代表理事らが参加。同ウインドの井上経久支配人が同席しました。

映画は、第五福竜丸以外にも無数の被害があったことを、高知県の高校生や教師が調査したことをきっかけに制作。パート2では、父が当時漁師だった2

遺族が、パート1を見て、早すぎる父の死に疑問を抱いて探求したり、

劇で、方言による患者の思いや怒り、希望がオリジナルの歌とうまくかみ合って参加者の心に響き渡りました。

を述べました。3部は歌手の加藤登紀子さんの「トーク&ライブ」で、「水俣病問題や福島原発事故、そしてそこから生まれた被害者、被災者は日本の文明の落とし子です。もっと地面や農地、環境について私たちは目を向けなければいけない」と語りな

2部は市内の大学生と水俣病語り部の患者が対談し、患者への差別偏見の実態が語られ、学生たちもこの問題から学んで社会の中で活かしていききたいと決意

故、そしてそこから生まれた被害者、被災者は日本の文明の落とし子です。もっと地面や農地、環境について私たちは目を向けなければいけない」と語りな

から、歌声を響かせました。

新潟水俣病阿賀野患者会の山田サチ子さん（79）は「よかった。ほんとうによかった。これまで水俣病の集会に何回も参加してきましたが、想像以上で香り豊かな舞台で一番感動した」と語りました。

取材チームが新たに取材を積み重ねるなどして、巨大被ばく事件から半世紀を経た今も、決して消え去ることがない「被ばく」の傷跡を明らかにします。

伊東監督は「当時爆心地近くの近海で年々3千隻の漁船が従事していた。水揚げされた魚介類が55年から検査もされなくなった。調査でも当時は日本中が放射性降下物で覆われた。隠された被害がたくさんある。3・11は静岡だけの問題ではなく、日本中の問題。同時多発で立ち上がったほしい」と述べました。

赤井氏は「核廃絶運動の糧にしていきたい」と話しました。

問い合わせはシネ・ウインドへ、0255(243)5560

社会医療法人 新潟勤労者医療協会

理事長・高橋常彦	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL0250 (24) 5170
下越病院	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL0250-22-4711
舟江診療所	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL025-229-3588
介護老人保健施設入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL025-229-3588
沼垂診療所	〒950-0075	新潟市中央区沼垂東6-4-12	TEL025-244-0116
坂井輪診療所	〒950-2054	新潟市西区寺尾東3-8-35	TEL025-269-6630
おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町3-8	TEL0250-25-3071
ときわ診療所	〒950-0036	新潟市東区空港西1-15-17	TEL025-274-2714
かえつクリニック	〒956-0836	新潟市秋葉区田家2-1-30	TEL0250-22-5888
かえつ歯科	〒956-0831	新潟市秋葉区中沢町1-25	TEL0250-25-5510

着ぶくれ

〈寒波〉暖冬を喜んでいたら急な寒波襲来。社会情勢も荒れ模様。そんななか、私は高齢者だが選挙では一票をもっている。この一票と命を大切に春を待つ。
(高橋シズ)

地方政治と住民運動の専門誌

議会と自治体

月刊